

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



重久地区～諏訪神社～



# 初心にかえり・・・



障害者支援施設 穴山の里

保護者会長

曾根



シズ

明けましておめでとうございます。

皆さま方より一層のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

私は昭和61年5月、精神薄弱者更生施設として“穴山の里”が開設されて以来、5期に渡り保護者会長を務めさせていただきました。27周年目を迎えました今年度、再び会長の任務を賜りました。

このお話をいただいた当初は、後期高齢者の仲間入りをした私が、今さら、何のお役に立つことができるのであろうか？また、皆さまの足手まといになるだけなのではないだろうか？等、日々不安な気持ちでいっぱいでも過ごしておりました。そのような中で、ふと我が子の入所当時のことを思い出しました。

施設自体とその運営方針、また職員の方の素晴らしさに感銘し、入所させていただいた次第ですが、全ての事柄が初めての経験ばかりで、実際には途惑うことも多々ございました。しかし面会を重ねるごとに、身も心もその意を込めまして保護者会会長として、職員と保護者、そして賛同してくださる方々との交流を深め、“穴山の里”の益々の発展と繁栄のために尽力つしてきた当初の気持ちを思い出したのです。今期の任期期間は『初心に帰る』をテーマに、役目を務めさせていただこうと思っております。そして、今後の保護者会存続のために、若い世代の方々との意見交換や参加協力にも力を入れて参りたいと考えております。【各世代が団結し、協力し合い“穴山の里”を支える】新たな保護者会に向けてその基礎を築けるように、尽力する所存でございます。ぜひ、皆さま方にはご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回このような寄稿をする機会をいただき感謝申し上げます。皆様おかれましては、厳しい寒さが続いております。お身体にはお気を付けください。

# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 理事会・評議委員会報告

開催日：平成24年12月17日（土）  
開催場所：古名屋ホテル 会議室  
審議次項：第1号議案 相談支援事業所の経営に伴う定款の変更について  
第2号議案 建物改修工事について  
第3号議案 車両購入契約について



平成24年度 第3回目の理事・評議員会で上記の議案が審議され、すべての項目について承認を得られたことをご報告いたします。

特記すべき事項としては、第2号議案の建物改修工事は、平成22年度10月に購入、12月に登記済みの韮崎市穴山町5187-3に所在する建物を、一般住宅から共同住宅への用途変更を行い、それに伴い防火壁を設置、部屋の間取りの変更をし、定員5名のグループホームとして改修いたします。

この度、信和会創設者であり、現在会長職を務める栗原信雄氏が平成24年11月20日に山梨県知事横内正明氏より県政功績者表彰を受賞いたしました。

栗原会長は過去に社会福祉経営者協議会副会長として永年に渡り山梨の福祉の向上に貢献しておりました。その功績が認められたものと思います。

今回の理事会では、ささやかではありましたが内輪の受賞祝いの会をいたしました。

## 相談支援事業所 さくら

信和会でも、今年度から新しく相談支援事業所を始めました。

相談支援事業は、平成24年度から3年の間に、全員の方に声をかけていき、自分に合ったサービスや必要な支援のアドバイス及びサービス利用計画をたてます。まずは、緊急性の高い人や状態が変わった人から、優先されます。今後受給者証の区分期間が切れた時には区市町村から「サービス利用計画」のお話があるかもしれません。どこの相談支援事業所を使うかは、利用者（保護者）さんが受給者証を発行している区市町村に申請します。

相談支援事業所には相談支援専門員として職員が1名配置されます。日々生活している所の近くの相談支援事業所に相談していただくと、利用者の日常の様子や状態を知っている為、“思い”を汲み取りやすいと思います。

7月から、穴山の杜の一角を、お借りして、相談支援事業を開所していましたが、韮崎市から譲渡された、旧穴山公民館の室内改修工事が終了しましたので、そちらに、移転いたしました。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

住所：韮崎市穴山町4914-1

☎：080-6774-4419

\*訪問の為、外出中で不在になることがありますので、ご来所の際は事前にお電話をお願いいたします



相談員 伊藤美鈴

# 穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
TEL0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



新年明けましておめでとうございます。今年の干支、巳は蒔いておいた種が実を結ぶ年でもあるそうです。穴山の里も実り多き一年になるよう、利用者さん一人一人の個性を生かしながら楽しく、入所生活が送れるように職員一丸となってサポートさせていただきます。

## 社会福祉施設主任指導員研修に参加して

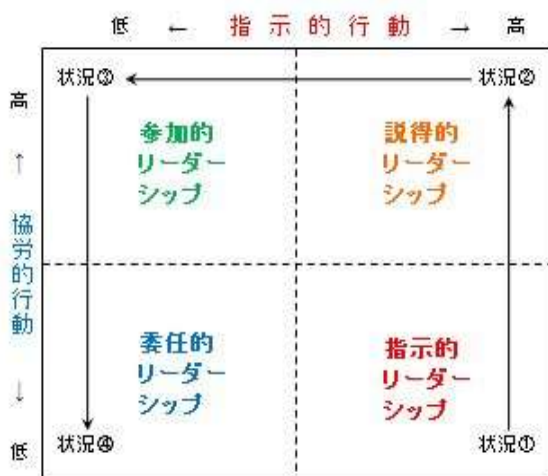
10月24日に山梨県社会福祉協議会主催の主任指導員研修に参加しました。今回の研修は私が今置かれている職務リーダーという立場の中で、日々考えていること・思っていることを踏まえて研修を受けました。

現状の問題にたいして「なぜ?」「どうして?」の疑問を持つこと。新しい観点から問題を見つめ、得た情報を正確に処理する。また、チームワークにおいて、いかにコミュニケーションが必要か、目的達成の為に、目標を共有する事が $1+1=2+\alpha$ を生む事を学びました。また、一言に“リーダー”と行っても、4つの型に分類される事を学習しました。今回の研修を、今後の後輩指導の実践に役立てたいと思います。



リーダー 三森 正江

## リーダーシップの四累型



- I **委任型**: 集団活動としての行動および結果の目標の設定もメンバーに任し個々の行動に対する具体的な指示や統制は極力行わず、自主性の発揮に委ねる。
- II **参加型**: メンバー同士及びメンバーとの関係を常に友好的な雰囲気を保つことを重視した行動によって目標達成をはかる。メンバーの参画の促進、メンバーへの援助的な行動を取る。集団活動の決定も融和を損なわない決定を選択する。
- III **説得型**: 人と仕事の両面に配慮しながら、効果的に目標を達成しようとする。メンバーとの情報を共有した上で、活発な集団討議を重ね、リーダーがメンバーと共有できる集団活動として決定する。
- IV **指示型**: 目標達成を強調し、リーダーが情報を与える行動は少なく、細部にわたって命令を与え、メンバーの行動を強く監督、統制、干渉する。集団活動の目標、方針もリーダーが独断で決定する。

## 50粒の宇宙大豆

春に植えた16キロ大豆。今年の猛暑にも負けず、すくすくと成長し、11月には151キロの大豆を収穫しました。



また、農林高校から頂いた50粒の宇宙大豆から700グラムの2代目宇宙大豆が取れました。

来年度700グラムの大豆をさらに増やし、プレミアム宇宙大豆味噌の実現に一歩ずつ近づいています。

## 浅川巧を訪ねる旅 in 韓国

11月28日～30日の3日間、利用者4名と職員3は、映画「道～白磁の人～」の原作者江宮隆之先生と共に、浅川巧の栄光の軌跡を訪ねました。

浅川巧は山梨県出身林業技師として荒廃した朝鮮の山々の緑化に務める中、朝鮮白磁、木工芸品の中に民衆芸術の美を見出し、優れた文化として日本に紹介しました。





## 強度行動障害特別支援研修会に参加して

11月5日に山梨県立育精福祉センターで開催された「精神発達について」の研修に参加しました。

生まれたばかりの子供は皆、自閉期を持ち、3歳までに成長する間、共生期・分離個体化期を経て自閉が改善され、精神的成長をとげることを学び驚きました。

その中でもマラーの発達論における“ホメオステシス”（Homeostasis）生体の状態が一定に保たれるという性質で、これは、「変化しない」というよりは、比較的狭い範囲内で「変動し続ける」、その平衡状態を保つ機能・状態の事を学びました。

また、人間はストレスなどを発散する事でホメオステシスが働き、細胞はよい状態に戻る事を知りました。利用者支援においても、日々変動する精神状況の中、どう接するか、いかに不安を安定に導くか、そして、利用者が感じるストレスを上手に発散させる事を、今後の課題として取り組みたいと思います。



生活支援員 中沢 貴広

## 手作り枯露柿

畑で取れた百目柿を使って枯露柿を作りました。1746個の柿をピーラーで丁寧に剥き、干しました。澄んだ空気の中、たっぷり日差しを浴び、厳しいハケ岳おろしを受け、甘い枯露柿が出来ました。

冬季家庭訓練の際には、利用者から保護者へ日頃の感謝をこめ、枯露柿をお土産に帰省しました。保護者の皆様より、ちょうど良い硬さで、とても美味しかったとお言葉をいただきました。



## わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
Tel : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



新春を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。本年も昨年同様、職員・利用者たちが楽しく笑顔で働ける環境、よりよいサービスを提供する事業所として歩んで参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



10月26日  
長野県飯田市へ  
りんご狩りに行ってきました。  
とても大きくて甘いりんごを  
籠いっぱい取りました。



成人

わ〜く穴山の里では、2名の利用者さんが、新成人となりました。

おめでとうございます  
ごさいます

ご成人

K・Nさん N・Oさん

### ～成人式を迎えて～

現在、広大は、“わ〜く穴山の里”にお世話になっています。毎日、時間になると、自分で荷物を用意して足取り軽く出かけていきます。休日の街の中で、職員の方や仲間と会うと、ジャンプをして喜んでいきます。そんな姿を見ると、“わ〜く”には自分の居場所があるのだと、とても嬉しくなります。

早いもので広大も二十歳になりました。いつもニコニコしていてちょっと変わった子供だった自閉症児の息子が、成人になったなんて・・・少し不思議な感じです。成長とともに、天使みただった子にも、思春期がやって来て、健全者にはわからない世界の中、色々な人たちの力を借りて、時には迷惑もかけながら精一杯生きています。

長いようで短かった20年・・・日本の社会には、障害者に対する多くの支援が整備され、共に歩んでくれる人たちがたくさんいることを知りました。これからも、広大がニコニコと生活できる世の中でありたいと願ってやみません。

この度は寄稿いただく機会をいただきまして誠にありがとうございました。

中川 直実 (母)

# 穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
Tel.0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



正月の松がとれ小寒、七草と瞬く間に時が過ぎて1年がスタートし、政治も民主党から自民党へと国民が選択した新体制になりました。新体制の大きな目玉は日本経済の再生が謳われており活性化された経済下での税の増収期待と消費税アップによる増収を狙っておりますので、増加し続ける福祉予算、年金問題等の解決の一助になればと期待しております。しかしながら急速に高齢化が進み施設への入居待機者の増加は大きな問題です。施設に入居したくても入居できない、家庭での介護にも限界があるなど介護難民と言われる老人の増加です。新しい政治の下で少しでもこの問題の解決の道筋が見えればと願っています。この1年間、ご家族の皆さまのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。

## トピックス冬編

### 12月4日 白寿のお祝い会



11月24日にめでたく99歳を迎えられた、新井清子様。同じ亀のフロアで生活されている利用者様や職員、そして娘さんも参加され白寿のお祝い会を行いました。

少しお化粧をされて緊張されている様子ではありましたが、施設職員より花束やプレゼントを受け取られると笑顔もみられました。また亀1丁目利用者様より代表してお祝いの言葉も頂きました。最後はご家族との記念撮影、そして手作りの紙吹雪で亀の階の皆様で白寿を祝いました。

これからも楽しく笑顔で過ごされ、100歳めざしてお元気でいていただきたいです。おめでとうございます。



### 12月23日 クリスマス会



「メリークリスマス！！」と大きな声で現れたのは、サンタクロースに扮した職員だった。今年もクリスマスがやって来ました。

サンタの袋の中身は職員が利用者様一人ひとりに用意したプレゼント！日頃、利用者様に対して感謝の気持ちと健康長寿の願いを込めて、職員が一生懸命選びました。利用者様から「ありがとね！」「嬉しいよ」と言葉を頂き、笑顔も見られました。



### クリスマス番外編～穴山保育園慰問～

日頃、慰問に訪れていただく園児さん達にサプライズで、サンタに扮した職員がプレゼントを届けました。かわいい笑顔を届けてくれる子供達の訪問を楽しみに待ってます。



### 12月28日 お餅つき



今年も年末の恒例行事としてお餅つきを行いました。

男性職員2名により餅つきが始まると、「よいしょ！よいしょ！」と利用者様より掛け声も聞こえてきていました。

つきたての餅は、あんこ餅、きなこ餅で召し上がってもらいました。「やわらかくてとても美味しい！」と好評でした。また、鏡もち作りでは「昔はよく作ったなあ」と懐かしむ利用者様もいました。

新年を迎える準備もでき、また季節を感じていただけたひとときとなりました。



# H・R式 図上型防災訓練を終えて

施設長 栗原 徳昌

何よりも大切な人命を預かる施設にとって、どのような非常事態にあっても、すべての命を守りきる「備え」をしておくことは極めて重要なことです。今回、当施設が実施した「ヒューマン・リレイション防災塾」の櫻本安善講師、永田易也講師指導によるH・R式防災図上型訓練は、繰り返し起こる大地震や風水害などの自然災害や、あつてはならない火災や爆発などの人為災害によって起きる様々な事象を、状況付与という形式で、限られた時間内に、発生現場と酷似した状況の中で、参加者全員がチームとして体験でき、実戦的な効果が得られ、組織全体の非常事態への対処能力が飛躍的に高まるように組み立てられた図上型訓練です。

- 1、**図上型防災訓練入門講座**・・・平成16年に発生した新潟中越地震の記録DVDで地震を視覚から再認識し地震の被害を最小限に食い止めるために・地震とはどういうものか・発災直後の対処の手順や仕方・日頃からの防火防災設備の機能を知り動かす、などを体験する。
- 2、**施設中枢図上型訓練**・・・この訓練のねらいは実際の災害場と酷似した状況を体験する中で、施設指令中枢とそれぞれの現場間の報告・連絡・指示伝達の連携、協力体制について日頃からどんな備えをすべきか参加者全員で確認する（気付きの共有化）ものです。
- 3、**夜間・職員の非常参集図上型訓練**・・・夜間の勤務職員の少ない時間帯の訓練時は当直職員の対処、及び、職員の安否確認、非常招集の訓練になります。臨場感のあるこの訓練の中で参加者から多くの指摘・改善事項が提起され、その後の対応に役立つなど訓練の大きな成果でした。この訓練を生かして利用者、職員の安心・安全を確保し、より信頼される施設を目指します。



## 我々介護の目指すもの・・・

介護部主任 野澤 佐知子

介護部では、一昨年度から介護技術研修委員会が中心となり、職員の資質向上のため、外部研修参加は元より、さまざまな工夫を凝らし、施設内研修に取り組んでおります。

具体的には、まず年に2回ほど順番に担当職員が担当利用者について、どのようなことを目標とし、どのように支援してきたか、どのような対応に苦慮しているのか等報告し、研修に出席した職員と意見交換をおこない、担当者会議とは別に、今後に向けての方法、方策、新たな取り組みを見出すようにしています。また、外部研修に参加した場合には、施設に戻ってから伝達研修を開催し、聴講した職員に止まらず、横の展開ができるようにしています。それ以外にも各委員会で、知識として必要な内容については研修を開催し、委員自らが講師となり、状況に応じては外部講師を招き研修をおこなうようにしています。伝達研修においてもそうですが、自分達が講師をすることで、より理解を深めることができ、伝えること・教えることの難しさを知り、自己研鑽できるようになると思います。

今年度は施設内研修のみでなく、外部研修や他施設での実習、利用者体験など、これまで以上に積極的に行い、実際介護を受ける側のサイドにも立って勉強することもおこないました。

穴山の杜も丸6年が経過する中で、我々介護部はマンネリ化しやすい業務から脱し、日々変化する介護業務において、自分達自身もレベルアップしようともがいております。とはいっても、我々職員だけの一方的な思いだけでは成長しません。利用者の思い、ご家族の思いがあり、そこに施設としての思いや考えも加わり、三位一体となり、初めて良い介護ができるのではないかと思います。

新年を迎えるに当たり、自分自身もより高い理想を描きつつ、介護部全体のスキルアップを目指したいと思います。

## 感謝録

(平成24年9月16日から平成24年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

村田昇・岩本春男・五味和子・大草ボランティア・小尾智子  
韮崎市文化協会舞踊部・石橋電気保安管理事務所  
富士産業株・笛吹市春日居町下岩下地区・嶋津 文江  
小池 一

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

### ☆ボランティア

佐藤まゆみ・穴山保育園・初花会 (保坂喜久代様他5名)  
リベカ (深澤久子様他5名)・寿浩会16名・末苗会9名  
小淵沢エコーコーラス28名・韮崎市文化協会舞踊部  
千野 公洋・阿部 光雄



穴山の里文化祭を開催いたします。皆様お揃いでお出かけください。

日付：平成25年3月10日 (日)

時間：作品展示部門 9:00～12:00

発表部門 13:30～3:00

会場：作品展示部門については、穴山の里 作業棟

(会場住所) 韮崎市穴山町5164

発表部門については、穴山町ふれあいホール

(会場住所) 韮崎市穴山町4487-1

※発表部門は、外部会場で行われます。また、作品展示は午前中のみ開放になりますので、お間違えのないようお願いいたします。

### ●内容

#### \*作品展示

利用者 (各活動班・GH・CH)・保護者及び職員

#### \*発表

- ・北富士天王太鼓隊による太鼓演奏
- ・穴山の里 太鼓クラブの発表
- ・職員バンド「シュガーフレンズ」の発表
- ・穴山の里合唱クラブの発表

作品展

見に来て  
ください



## 訪問録

(平成24年9月16日から平成24年12月15日)

### ☆教育実習 (敬称略)

山梨学院短期大学

渡邊あやめ・山川なつみ・塚田藍梨

優和福祉専門学校

矢崎さつき・宇佐美妙・柿木大介・岡崎三恵子  
秋本恵美・小橋田知明・手塚温子・中島恭子  
弦間正美・村松真美・齊藤誠一・中込貞味  
岸本拓也・村上大・深澤一正・大木麻名武  
米山喜大・石川 功・村田由美子・篠原成光  
岩田由希子

### ☆施設実習 (敬称略)

わかば支援学校

安藤このみ

### ☆施設見学 (敬称略)

伊藤 正大・今福 てる子 (オンブズマン)

小澤由美子・有賀 弘・翠川直美・近藤安弘  
(第三者評価)

高山和彦・山西孝

## 重度知的障害者の 個別支援計画作成研修会のご案内

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園より、講師の先生を招いての個別支援計画作成基礎講座を開催いたします。外部からの研修参加も受付いたします。受講料は無料です。ご希望される方は下記までご連絡ください。

日付：平成25年1月25日 (金)

時間：13:30～15:00

場所：特別養護老人ホーム

穴山の杜 会議室

住所：韮崎市穴山町5390

問合せ先  
穴山の里  
0551-25-5900

## 編集後記

新年明けまして  
おめでとうございます。

巳年の特徴は探究心と

情熱。蛇は執念深いとされていますが、恩を忘れず、助けてくれた

人には恩返しをすると言われています。

信和会も「真の福祉」への

のさらなる探究心を培って

行きたいと思えます。

